標準化APIによるデマンドバス配車システムとMaaSアプリの実連携を通じた業務モデルの検証・実証環境での実装事業 ｜アイシン・未来シェア共同事業体

プロジェクト概要

デマンド交通予約・配車システムは様々な民間企業が提供する一方、各システムは地域毎に最適化されており、ユーザにとっては地域別で複数アプリをインストールする必要がある等、不便さが残る。「デマンドバスシステム相互運用API」を活用しMaaSアプリと複数地域のデマンド交通システムを繋ぐことで、MaaSアプリ経由予約によるユーザの交通利便性向上を図る。

課題

- 各デマンド交通システムは地域ごとに最適化されており、他地域のサービスとはつながりにくい状況にある。例えば、地域経済圏を跨ぐ移動となった場合、別のアプリをインストールして使い方を覚え直し、都度切り替えて利用するというケースが想定される。

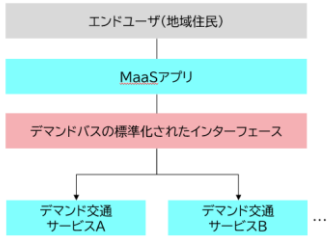
取組内容

- 25年度に国交省「COMmmmONSプロジェクト」において整備中の「デマンドバスシステム標準API」を福岡県エリアに導入する。導入において改良点を洗い出し、標準API仕様を更新。更新後の標準APIを用いて実サービスとして社会実装する。

サービスイメージ



連携イメージ



事業要件

- システム統合による業務効率の向上(共同化)

技術要件

- デマンドバスシステム連携API標準仕様書

効果

- 実証踏まえAPIの改良点を洗い出し、標準仕様書更新を通じて他地域普及を促進。
- 将来的な実サービスとしての社会実装を通じ、ユーザの広域移動利便性を向上。
- MaaSアプリ事業者・デマンド配車Sys事業者開発コストを50%程度削減。

事業実施自治体・エリア

福岡県福岡市、香春町

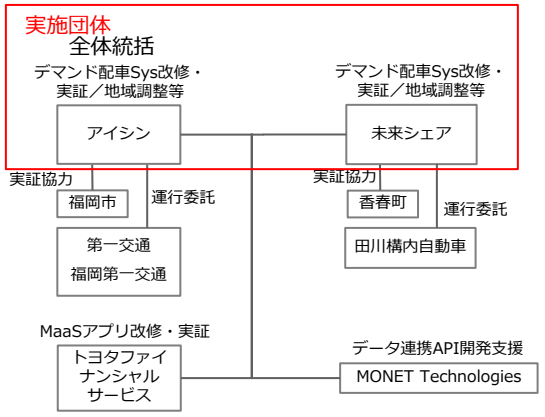
交通事業者

オンデマンド交通：（福岡市） 第一交通、福岡第一交通
（香春町） 田川構内自動車

アプリ・システム等

■ アプリ・システム
：MaaSアプリ 「my route」
：デマンド交通配車システム 「チョイソコ」
：デマンド交通配車システム 「SAVS」

座組



スケジュール

4～6月 要件定義

7～12月 システム開発/テスト

1月 実証運行／効果測定

2月 成果取りまとめ

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.